

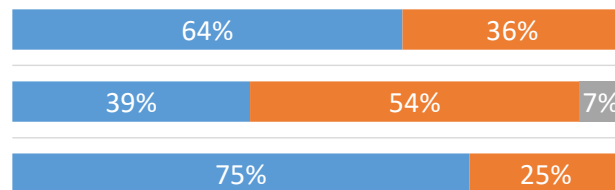
「肯定」 +10%
-10%

思う
思わない

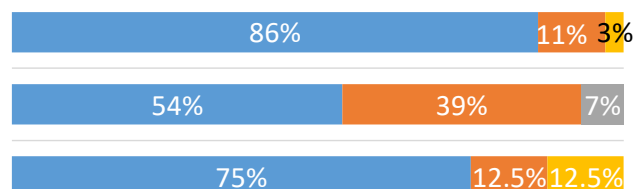
やや思う
分らない

基礎・基本と学びに向かう力を重視した学力の定着と向上

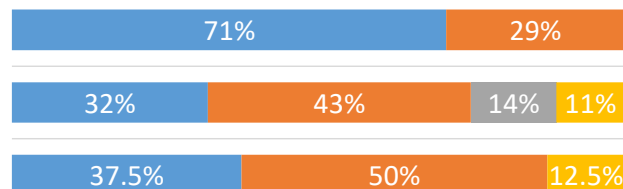
児童	勉強や運動などの学校での活動を、あきらめずにねばり強く取り組むことができましたか。
1 保護者	お子さんは、勉強や運動などの学校の活動にねばり強く取り組んでいますか。
教職員	児童が勉強や運動などの活動に、ねばり強くがんばれるよう支援したか。



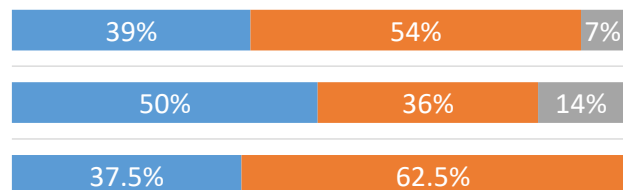
児童	家でしゅくだいや勉強をがんばっていますか。
2 保護者	お子さんは、家で宿題や勉強に取り組んでいますか。
教職員	基礎・基本の確実な定着・向上に努めたか。



児童	学校の授業はよく分かりますか。
3 保護者	お子さんは、授業は分かりやすい、楽しいと思っていますか。
教職員	授業改善を心がけ、分かりやすい授業づくりに努めたか。



児童	家庭で読書をしていますか。
4 保護者	お子さんは家庭で読書をしていますか。
教職員	読書の喜びを体験させ、読書に対する関心意欲を高めるよう努めたか。

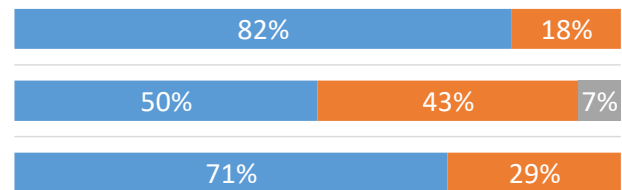


＜考察と次年度への方向性＞

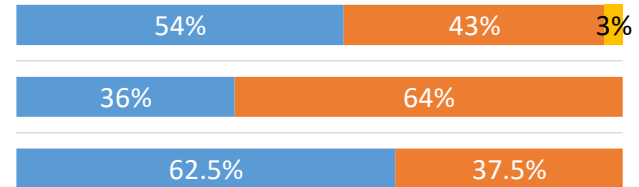
- 1… 保護者の回答において、「児童の学習や運動などの学校の活動へのねばり強い取組」での達成度が、前回より10%以上減少した。児童と教職員との意識のギャップが大きい。陸上練習や音楽練習等、放課後の活動には、ねばり強い頑張りが感じられたが、学習面での頑張りへの姿勢に不足を感じられた保護者の方々が増加したようである。
➡ 3学期は、学年のまとめの学期となるので、「双小検定」の実施も含め、1・2学期の学習内容のおさらいをし、基礎学力の定着をさらに図っていきたい。
- 2… 家庭学習においては、前期アンケートに比べて、児童・保護者・教職員すべての回答で、10%以上達成度が向上した。
➡ 引き続き、基礎・基本の確実な定着・向上に努めていきたい。
- 3… 前期とほぼ同様の回答結果であった。
➡ 引き続き、分かりやすい授業づくりに努めていきたい。
- 4… 保護者の回答において、「家庭での読書活動」への達成度が、前期に比べ、10%以上向上が見られた。児童は、前期に比べ、達成度が減っている。
➡ 2学期は、陸上練習や音楽練習等で、帰宅時刻が遅くなり、1学期と同等な家庭での読書時間の確保が難しかったものと思われる。それでも、少ない家庭での時間の中で、読書活動に取り組んでいた様子が感じられた。

安全・安心な教育環境の整備と望ましい生活習慣の確立

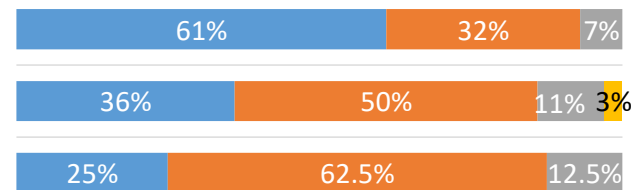
5	児童	学校へ行くのは楽しいですか。
	保護者	お子さんは、学校に楽しく通っていますか。
	教職員	学校生活の中で、児童の活躍の場面を作ることができているか。



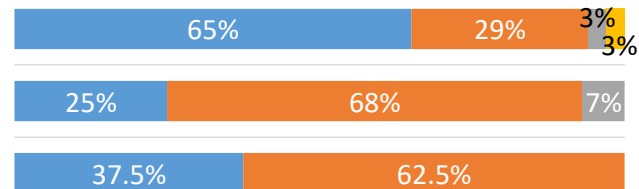
6	児童	家庭で決めたゲームや動画の時間を守れていますか。
	保護者	学校は、家庭と連携しながらゲーム・動画についての約束を作り、守らせるよう努めていますか。
	教職員	家庭と連携し、児童がゲーム・動画についての約束を守るよう努めたか。



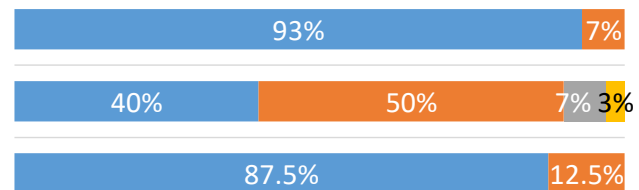
7	児童	毎日、何か運動をしていますか。
	保護者	学校は、子どもの体力向上や健康増進を図る教育活動のために努力していると思いますか。
	教職員	個の特徴を理解し、適切なアドバイスで体力づくりを支援することができたか。



8	児童	家で手伝いができましたか。
	保護者	お子さんは手伝いをよくしていますか。
	教職員	勤労奉仕する児童の育成に努めたか。



9	児童	安全に気をつけて生活していますか。
	保護者	学校は、児童の安全確保や施設・設備の安全管理ができていると思いますか。
	教職員	危機管理意識をもち、子どもの安全確保に努めると共に、安全な学校環境づくりに努めたか。

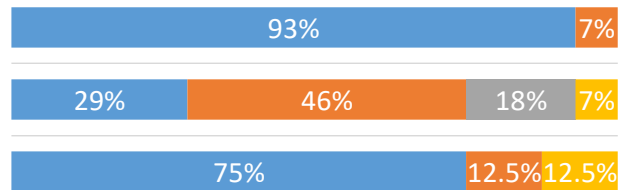


<考察と次年度への方向性>

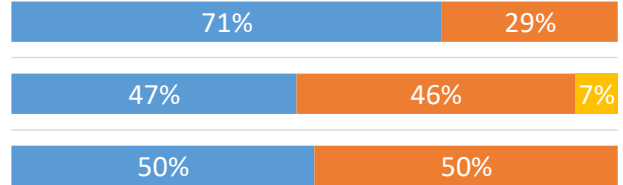
- 5… 保護者の回答において、「お子さんは、学校に楽しく通っていますか？」への回答が、前期に比べ、10%以上減少している。
 ☞ 保護者が感じている以上に、児童たちは学校に楽しく通っていると感じていることが分かる。
- 6… ゲーム・動画の使用についての保護者の回答が、前期に比べ、10%以上減少している。
 ☞ 学校は、週1回「ノーゲームデー」を設けて児童に意識付けをしたり、生活アンケートで達成の状況を把握したりしている。達成の状況で指導の必要な児童には、個別に対応していく。今後も、これらの取組を継続していく。
 御家庭でも、ルールの達成状況の振り返りと児童との話合いの機会を持ていただきたい。
- 7、8…前期に比べ、「思う」と回答した児童が増えた。（体力づくりと家庭でのお手伝いへの取組）
- 9… 安全に気を付けて生活していると答えた児童が、前期に比べ増えた。
- 10… 友達を大切にしていると答えた児童が、前期に比べ増えた。

人権尊重の精神を基盤とした心の教育の充実、豊かな人間性の育成

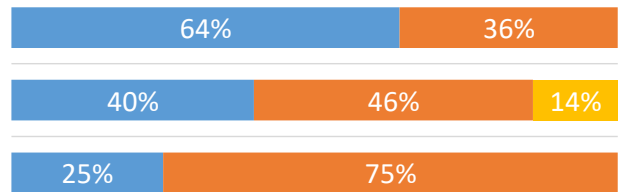
10	児童	友達を大切にしていますか。
	保護者	学校は子どものよさに目を向け、一人一人を大切にした教育を行っていると思いますか。
	教職員	児童間のトラブルに対して、公平に処理し、教職員で情報を共有したか。



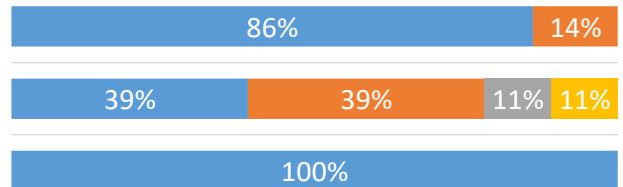
11	児童	先生たちは、いじめのない楽しい学校にしようがんばっていると思いますか。
	保護者	学校は豊かな心や命を大切に、いじめのない学校づくりに努めていますか。
	教職員	豊かな心を育み、命の大切さを伝えながら、いじめのない学校づくりに努めたか。



12	児童	先生たちは、話をよく聞いてくれていますか。
	保護者	学校は、保護者にとって連絡や相談がしやすく、適切に対応していると思いますか。
	教職員	児童の話や保護者の相談に対し、しっかり耳を傾け、適切な対応に努めることができたか。



13	児童	きまりを守って、正しく行動できましたか。
	保護者	学校はお子さんの言葉遣いや規範意識を高めるための指導に努めていますか。
	教職員	児童の間違った行動に対して、しっかりと指導することができたか。

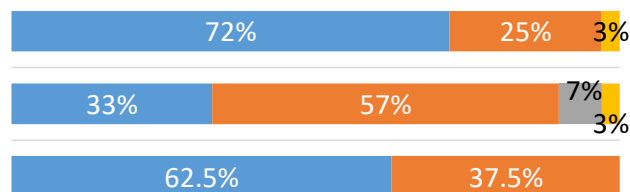


<考察と次年度への方向性>

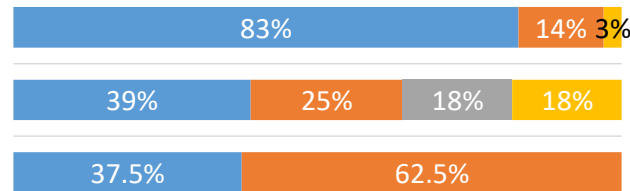
- 11 … 児童たち自身が、いじめのない楽しい学校にしようという意識が大変高い。いじめをのない学校づくりに関する保護者の回答は、前期に比べ、10%以上減少した。
 ☞ 学級担任の学級活動や道徳科の授業実践を柱として、全教育活動の中で全教職員が児童と関わり、人権尊重の意識を高め、よりよい集団づくりに努めていく。
- 12 … 先生と児童、保護者との関わりについては、児童・保護者・教職員すべてにおいて、前期に比べ、10%以上の減少が見られた。本校の重要な課題点である。
 ☞ 児童とのコミュニケーションを今以上に大切にして関わり、保護者との連携を一層密にしていかなければならない。
- 13 … きまりを守って生活できたと答えた児童は、前期とほぼ同じ割合であった。

家庭・地域・関係諸機関との連携によるふるさと双岩を愛する心の育成

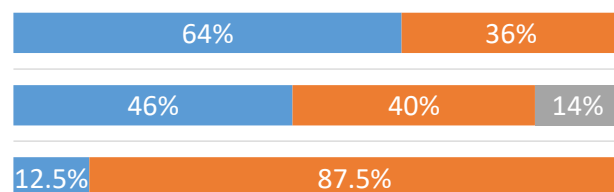
14	児童	地域の人にあいさつができましたか。
	保護者	お子さんは、家庭・地域であいさつができていますか。
	教職員	あいさつや返事のできる児童の育成に努めることができたか。



15	児童	公民館行事に積極的に参加できましたか。
	保護者	学校は、地域と連携した教育活動ができていると思いますか。
	教職員	家庭・地域と連携を取り、信頼される学校づくりに努めたか。



16	児童	学校での様子などを、家の人によく話しますか。
	保護者	お子さんは、学校であったことをよく話しますか。
	教職員	ハッピーテーブル20の推進に努めたか。



<考察と次年度への方向性>

- 14 … 保護者の回答から、家庭・地域での児童のあいさつの達成状況が、前期に比べ、10%以上減少している。一方、教職員は、前期に比べ、10%以上も、あいさつや返事のできる児童の育成に努めたと回答していた。
☞ 地域・家庭でのあいさつが不十分であると認識し、児童への継続的な指導にあたらなければならない。
- 15 … 児童の回答は、前期に比べ、10%以上「参加できた」が増加したが、保護者の回答では、地域と連携した教育活動が、「できた」が前期に比べ、10%以上減少した。教職員の回答も、「できた」が前期に比べ、10%以上減少した。
☞ コロナ禍が続いていて、地域と連携した教育活動が進めにくいのが現状であるが、少しずつでも進めていくよう努めていきたい。
- 16 … 教職員の「ハッピーテーブル20」の推進については、前期に比べ、達成度が10%以上減少した。
☞ 2学期は、学習内容や学校行事も多く、準備や指導に時間を要し、家族との団らんの時間を見出すことが難しい状況であった。教職員が家庭で過ごす時間を少しでも多く持てるよう、教職員相互の協力体制を整えていきたい。

現職教育の充実、教職員の資質・能力の向上

17	教職員	自分の校務分掌を自覚し、責任をもって実践できたか。
----	-----	---------------------------



18	教職員	体験的な学習や問題解決的な学習を重視し、自ら学び、考える力の育成に努めたか。
----	-----	--



19	教職員	日頃から時間外勤務時間短縮に努めているか。
----	-----	-----------------------



<考察と次年度への方向性>

- 17, 18 … 教職員一人一人の努力が反映されている。特に、「体験的な学習や問題解決的な学習を重視し、自ら学び、考える力の育成」への取組が良好であった。
☞ 次年度も、この調子で取り組んでいきたい。
- 19 … 教職員の時間外勤務時間短縮についての回答において、「思う」と回答した割合が少し増えたが、逆に「思わない」と回答した割合が増えている。☞ 引き続き、時間短縮を呼び掛けていきたい。

<自由記述欄>

- 今年度から、学校の教育方針が勉学に偏っている気がします。
☞ 昨年度の学校教育目標「進んで学び、心豊かにたくましく生きる双岩っ子の育成」を引き継ぎ、新たに防災教育を加え、学校と家庭と地域が連携を図りながら、「知」「体」「徳」のバランスのとれた児童の育成を目指す教育方針としています。児童の学力保障の観点から、すべての児童の基礎・基本の学力の定着を大切に実践していきます。







